

令和 4 年度 病院事業決算状況

都道府県名 千葉県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	循環器病センター	2	香取市	香取おみがわ医療センター	20
-	佐原病院	3	大網白里市	国保大網病院	21
-	精神科医療センター	4	多古町	国保多古中央病院	22
-	がんセンター	5	東庄町	国保東庄病院	23
-	救急医療センター	6	横芝光町	東陽病院	24
-	こども病院	7	鋸南町	国保鋸南病院	25
千葉市	青葉病院	8	国保国吉病院組合	いすみ医療センター	26
千葉市	海浜病院	9	君津中央病院企業団	君津中央病院	27
銚子市	銚子市立病院	10	君津中央病院企業団	君津中央病院大佐和分院	28
市川市	リハビリテーション病院	11	長生郡市広域市町村圏組合(事業会計分)	公立長生病院	29
船橋市	医療センター	12			
松戸市	松戸市立総合医療センター	13			
松戸市	福祉医療センター東松戸病院	14			
旭市	総合病院国保旭中央病院	15			
柏市	柏病院	16			
鴨川市	国保病院	17			
南房総市	南房総市立富山国保病院	18			
匝瑳市	国保匝瑳市民病院	19			

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名 千葉県	
市町村・組合名					
病院名	循環器病センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	22,000 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	18	指定病院の状況	救臨 災 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	220	57.2	53.7	53.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	220	57.2	53.7	53.1
平均在院日数(一般病床のみ)		14.8	14.1	14.2

設立団体の状況		
人口(人)	6,284,480	
決算規模(千円)	2,204,550,383	
標準財政規模(千円)	1,118,595,845	
財政力指数	0.74500	
経常収支比率(%)	95.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.8
	将来負担比率(%)	110.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,040,197			
1 経常収益	9,038,132			
(1) 医業収益	5,893,413			
(うち修正医業収益)	5,690,501			
入院収益	4,615,354			
外来収益	1,016,660			
診療収入計	5,632,014			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	261,399			
(うち他会計負担金)	202,912			
(2) 医業外収益	3,144,719			
(うち国・都道府県補助金)	1,064,669			
(うち他会計補助・負担金)	1,781,360			
(うち長期前受金戻入)	214,521			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,065			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,913,079			
2 経常費用	8,912,010			
(1) 医業費用	8,428,052			
職員給与費	4,552,880	77.3	59.4	63.7
材料費	2,067,562	35.1	26.1	21.0
(うち薬品費)	444,710	7.5	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,587,258	26.9	11.8	10.1
減価償却費	360,639	6.1	8.7	9.7
経費	1,379,401	23.4	22.1	28.9
(うち委託料)	736,722	12.5	11.7	13.6
研究研修費	21,727			
資産減耗費	45,843			
(2) 医業外費用	483,958			
(うち支払利息)	95,557	1.6	1.0	1.1
(3) 特別損失	1,069			
経常損益	126,122			
純損益	127,118			
累積欠損金	19,052,679			
経常収支比率	101.4		103.3	101.8
医業収支比率	69.9		85.5	80.8
修正医業収支比率	67.5		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	22.0		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	33.7		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	21.9		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	79.2		91.9	89.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	79,432,107
1 固定資産	65,264,303
(1) 有形固定資産	60,835,521
(2) 無形固定資産	1,196,071
(3) 投資その他の資産	3,232,711
2 流動資産	14,167,804
(1) 現金及び預金	3,447,283
(2) 未収金及び未収収益	9,416,362
(3) 貸倒引当金()	11,000
(4) 貯蔵品	700,109
3 繰延資産	-
負債合計	79,167,663
1 固定負債	61,202,040
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	50,362,059
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	3,700,000
(6) 引当金	7,139,981
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	13,363,263
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,199,464
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,613,096
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	8,445,846
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,602,360
(1) 長期前受金	29,970,945
(2) 長期前受金収益化累計額()	25,368,585
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	264,444
1 資本金	12,616,892
2 剰余金	-12,352,448
(1) 資本金剰余金	14,901,029
(2) 利益剰余金	-27,253,477
負債・資本合計	79,432,107
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,984,272	1,984,272
資本勘定繰入	677,095	677,095
計	2,661,367	2,661,367

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	69.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				千葉県	
市町村・組合名					
病院名 佐原病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	16,652 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨 災		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	195	49.6	53.4	47.1
療養	-	-	-	-
結核	4	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	48.6	52.3	46.4
平均在院日数(一般病床のみ)		13.0	13.6	15.0

設立団体の状況		
人口(人)	6,284,480	
決算規模(千円)	2,204,550,383	
標準財政規模(千円)	1,118,595,845	
財政力指数	0.74500	
経常収支比率(%)	95.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.8
	将来負担比率(%)	110.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,779,114			
1 経常収益	4,778,644			
(1) 医業収益	3,222,833			
(うち修正医業収益)	3,036,298			
入院収益	1,930,116			
外来収益	1,029,460			
診療収入計	2,959,576			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	263,257			
(うち他会計負担金)	186,535			
(2) 医業外収益	1,555,811			
(うち国・都道府県補助金)	809,877			
(うち他会計補助・負担金)	534,765			
(うち長期前受金戻入)	175,249			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	470			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,408,393			
2 経常費用	5,404,902			
(1) 医業費用	5,231,993			
職員給与費	3,464,910	107.5	59.4	67.0
材料費	642,601	19.9	26.1	18.2
(うち薬品費)	203,321	6.3	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	410,006	12.7	11.8	9.4
減価償却費	321,856	10.0	8.7	10.2
経費	768,240	23.8	22.1	28.8
(うち委託料)	430,072	13.3	11.7	13.2
研究研修費	8,188			
資産減耗費	26,198			
(2) 医業外費用	172,909			
(うち支払利息)	21,494	0.7	1.0	1.1
(3) 特別損失	3,491			
経常損益	-626,258			
純損益	-629,279			
累積欠損金	16,591,012			
経常収支比率	88.4		103.3	104.5
医業収支比率	61.6		85.5	80.1
修正医業収支比率	58.0		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	15.1		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	22.4		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	15.1		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	75.1		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	79,432,107
1 固定資産	65,264,303
(1) 有形固定資産	60,835,521
(2) 無形固定資産	1,196,071
(3) 投資その他の資産	3,232,711
2 流動資産	14,167,804
(1) 現金及び預金	3,447,283
(2) 未収金及び未収収益	9,416,362
(3) 貸倒引当金()	11,000
(4) 貯蔵品	700,109
3 繰延資産	-
負債合計	79,167,663
1 固定負債	61,202,040
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	50,362,059
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	3,700,000
(6) 引当金	7,139,981
(7) 一時的債務	-
2 流動負債	13,363,263
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,199,464
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,613,096
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	8,445,846
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,602,360
(1) 長期前受金	29,970,945
(2) 長期前受金収益化累計額()	25,368,585
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	264,444
1 資本金	12,616,892
2 剰余金	-12,352,448
(1) 資本剰余金	14,901,029
(2) 利益剰余金	-27,253,477
負債・資本合計	79,432,107
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	721,300	721,300
資本勘定繰入	196,023	196,023
計	917,323	917,323

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	69.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				千葉県	
市町村・組合名					
病院名 精神科医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	3,798 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	1	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神科病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	86.1	91.2	87.4
感染症	-	-	-	-
計	50	86.1	91.2	87.4
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	6,284,480	
決算規模(千円)	2,204,550,383	
標準財政規模(千円)	1,118,595,845	
財政力指数	0.74500	
経常収支比率(%)	95.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.8
	将来負担比率(%)	110.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,547,236			
1 経常収益	1,547,124			
(1) 医業収益	1,032,279			
(うち修正医業収益)	942,825			
入院収益	545,447			
外来収益	389,524			
診療収入計	934,971			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	97,308			
(うち他会計負担金)	89,454			
(2) 医業外収益	514,845			
(うち国・都道府県補助金)	24,185			
(うち他会計補助・負担金)	447,113			
(うち長期前受金戻入)	18,131			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	112			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,535,944			
2 経常費用	1,535,720			
(1) 医業費用	1,482,381			
職員給与費	1,008,008	97.6	59.4	105.1
材料費	227,250	22.0	26.1	9.8
(うち薬品費)	206,861	20.0	14.0	6.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	7,024	0.7	11.8	1.6
減価償却費	32,525	3.2	8.7	12.8
経費	201,464	19.5	22.1	35.3
(うち委託料)	117,199	11.4	11.7	17.0
研究研修費	4,464			
資産減耗費	8,670			
(2) 医業外費用	53,339			
(うち支払利息)	1,736	0.2	1.0	2.4
(3) 特別損失	224			
経常損益	11,404			
純損益	11,292			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.7		103.3	101.8
医業収支比率	69.6		85.5	61.1
修正医業収支比率	63.6		82.8	58.7
他会計繰入金対経常収益比率	34.7		11.1	32.9
他会計繰入金対医業収益比率	52.0		14.1	57.0
他会計繰入金対総収益比率	34.7		11.0	32.7
実質収益対経常費用比率	65.8		91.9	68.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	79,432,107
1 固定資産	65,264,303
(1) 有形固定資産	60,835,521
(2) 無形固定資産	1,196,071
(3) 投資その他の資産	3,232,711
2 流動資産	14,167,804
(1) 現金及び預金	3,447,283
(2) 未収金及び未収収益	9,416,362
(3) 貸倒引当金()	11,000
(4) 貯蔵品	700,109
3 繰延資産	-
負債合計	79,167,663
1 固定負債	61,202,040
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	50,362,059
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	3,700,000
(6) 引当金	7,139,981
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	13,363,263
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,199,464
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,613,096
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	8,445,846
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,602,360
(1) 長期前受金	29,970,945
(2) 長期前受金収益化累計額()	25,368,585
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	264,444
1 資本金	12,616,892
2 剰余金	-12,352,448
(1) 資本金剰余金	14,901,029
(2) 利益剰余金	-27,253,477
負債・資本合計	79,432,107
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	536,567	536,567
資本勘定繰入	14,764	14,764
計	551,331	551,331

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	69.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				千葉県	
市町村・組合名					
病院名 がんセンター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	81,693 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	26	指定病院の状況	救臨が		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	450	59.8	58.7	66.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	450	59.8	58.7	66.7
平均在院日数(一般病床のみ)		12.1	12.2	12.6

設立団体の状況		
人口(人)	6,284,480	
決算規模(千円)	2,204,550,383	
標準財政規模(千円)	1,118,595,845	
財政力指数	0.74500	
経常収支比率(%)	95.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.8
	将来負担比率(%)	110.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	20,996,555			
1 経常収益	20,985,890			
(1) 医業収益	14,815,548			
(うち修正医業収益)	14,234,536			
入院収益	7,135,286			
外来収益	6,794,813			
診療収入計	13,930,099			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	885,449			
(うち他会計負担金)	581,012			
(2) 医業外収益	6,170,342			
(うち国・都道府県補助金)	266,543			
(うち他会計補助・負担金)	4,123,234			
(うち長期前受金戻入)	1,102,793			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	10,665			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	22,436,012			
2 経常費用	22,417,854			
(1) 医業費用	20,996,941			
職員給与費	9,172,804	61.9	59.4	57.2
材料費	6,024,096	40.7	26.1	28.0
(うち薬品費)	4,407,956	29.8	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,539,786	10.4	11.8	12.7
減価償却費	2,279,533	15.4	8.7	8.0
経費	3,187,232	21.5	22.1	19.0
(うち委託料)	2,056,474	13.9	11.7	10.0
研究研修費	53,401			
資産減耗費	279,875			
(2) 医業外費用	1,420,913			
(うち支払利息)	98,747	0.7	1.0	1.0
(3) 特別損失	18,158			
損益	経常損益	-1,431,964		
	純損益	-1,439,457		
累積欠損金	3,510,758			
経常収支比率	93.6		103.3	103.2
医業収支比率	70.6		85.5	88.6
修正医業収支比率	67.8		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	22.4		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	31.8		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	22.4		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	72.6		91.9	93.4

備考: 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	79,432,107
1 固定資産	65,264,303
(1) 有形固定資産	60,835,521
(2) 無形固定資産	1,196,071
(3) 投資その他の資産	3,232,711
2 流動資産	14,167,804
(1) 現金及び預金	3,447,283
(2) 未収金及び未収収益	9,416,362
(3) 貸倒引当金()	11,000
(4) 貯蔵品	700,109
3 繰延資産	-
負債合計	79,167,663
1 固定負債	61,202,040
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	50,362,059
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	3,700,000
(6) 引当金	7,139,981
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	13,363,263
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,199,464
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,613,096
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	8,445,846
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,602,360
(1) 長期前受金	29,970,945
(2) 長期前受金収益化累計額()	25,368,585
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	264,444
1 資本金	12,616,892
2 剰余金	-12,352,448
(1) 資本剰余金	14,901,029
(2) 利益剰余金	-27,253,477
負債・資本合計	79,432,107
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	4,704,246	4,704,246
資本勘定繰入	421,436	421,436
計	5,125,682	5,125,682

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	69.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				千葉県	
市町村・組合名					
救急医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	11,204 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	12	指定病院の状況	救臨 災		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	100	83.5	67.7	68.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	83.5	67.7	68.5
平均在院日数(一般病床のみ)		13.1	12.8	14.2

設立団体の状況		
人口(人)	6,284,480	
決算規模(千円)	2,204,550,383	
標準財政規模(千円)	1,118,595,845	
財政力指数	0.74500	
経常収支比率(%)	95.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.8
	将来負担比率(%)	110.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,687,365			
1 経常収益	7,685,663			
(1) 医業収益	5,918,052			
(うち修正医業収益)	3,637,658			
入院収益	3,451,332			
外来収益	169,382			
診療収入計	3,620,714			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	2,297,338			
(うち他会計負担金)	2,280,394			
(2) 医業外収益	1,767,611			
(うち国・都道府県補助金)	1,421,181			
(うち他会計補助・負担金)	198,019			
(うち長期前受金戻入)	123,895			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,702			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,931,505			
2 経常費用	5,929,559			
(1) 医業費用	5,573,532			
職員給与費	3,353,780	56.7	59.4	67.0
材料費	1,162,765	19.6	26.1	18.2
(うち薬品費)	194,805	3.3	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	938,565	15.9	11.8	9.4
減価償却費	212,763	3.6	8.7	10.2
経費	783,423	13.2	22.1	28.8
(うち委託料)	507,275	8.6	11.7	13.2
研究研修費	12,768			
資産減耗費	48,033			
(2) 医業外費用	356,027			
(うち支払利息)	9,423	0.2	1.0	1.1
(3) 特別損失	1,946			
経常損益	1,756,104			
純損益	1,755,860			
累積欠損金	-			
経常収支比率	129.6		103.3	104.5
医業収支比率	106.2		85.5	80.1
修正医業収支比率	65.3		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	32.2		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	41.9		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	32.2		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	87.8		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	79,432,107
1 固定資産	65,264,303
(1) 有形固定資産	60,835,521
(2) 無形固定資産	1,196,071
(3) 投資その他の資産	3,232,711
2 流動資産	14,167,804
(1) 現金及び預金	3,447,283
(2) 未収金及び未収収益	9,416,362
(3) 貸倒引当金()	11,000
(4) 貯蔵品	700,109
3 繰延資産	-
負債合計	79,167,663
1 固定負債	61,202,040
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	50,362,059
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	3,700,000
(6) 引当金	7,139,981
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	13,363,263
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,199,464
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,613,096
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	8,445,846
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,602,360
(1) 長期前受金	29,970,945
(2) 長期前受金収益化累計額()	25,368,585
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	264,444
1 資本金	12,616,892
2 剰余金	-12,352,448
(1) 資本金剰余金	14,901,029
(2) 利益剰余金	-27,253,477
負債・資本合計	79,432,107
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,478,413	2,478,413
資本勘定繰入	94,251	94,251
計	2,572,664	2,572,664

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	69.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				千葉県	
市町村・組合名					
病院名					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,269 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨	地	輪
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	218	52.8	51.0	57.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	218	52.8	51.0	57.1
平均在院日数(一般病床のみ)		11.3	11.3	11.2

設立団体の状況		
人口(人)	6,284,480	
決算規模(千円)	2,204,550,383	
標準財政規模(千円)	1,118,595,845	
財政力指数	0.74500	
経常収支比率(%)	95.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.8
	将来負担比率(%)	110.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,351,728			
1 経常収益	12,351,369			
(1) 医業収益	8,590,675			
(うち修正医業収益)	8,268,335			
入院収益	4,927,432			
外来収益	3,308,550			
診療収入計	8,235,982			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	354,693			
(うち他会計負担金)	322,340			
(2) 医業外収益	3,760,694			
(うち国・都道府県補助金)	518,405			
(うち他会計補助・負担金)	2,940,086			
(うち長期前受金戻入)	186,521			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	359			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,743,373			
2 経常費用	12,742,687			
(1) 医業費用	12,052,379			
職員給与費	5,893,644	68.6	59.4	63.7
材料費	4,025,339	46.9	26.1	21.0
(うち薬品費)	3,450,859	40.2	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	544,431	6.3	11.8	10.1
減価償却費	356,968	4.2	8.7	9.7
経費	1,712,557	19.9	22.1	28.9
(うち委託料)	1,026,898	12.0	11.7	13.6
研究研修費	28,688			
資産減耗費	35,183			
(2) 医業外費用	690,308			
(うち支払利息)	15,273	0.2	1.0	1.1
(3) 特別損失	686			
損益	-391,318			
純損益	-391,645			
累積欠損金	-			
経常収支比率	96.9		103.3	101.8
医業収支比率	71.3		85.5	80.8
修正医業収支比率	68.6		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	26.4		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	38.0		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	26.4		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	71.3		91.9	89.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	79,432,107
1 固定資産	65,264,303
(1) 有形固定資産	60,835,521
(2) 無形固定資産	1,196,071
(3) 投資その他の資産	3,232,711
2 流動資産	14,167,804
(1) 現金及び預金	3,447,283
(2) 未収金及び未収収益	9,416,362
(3) 貸倒引当金()	11,000
(4) 貯蔵品	700,109
3 繰延資産	-
負債合計	79,167,663
1 固定負債	61,202,040
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	50,362,059
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	3,700,000
(6) 引当金	7,139,981
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	13,363,263
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,199,464
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,613,096
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	8,445,846
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,602,360
(1) 長期前受金	29,970,945
(2) 長期前受金収益化累計額()	25,368,585
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	264,444
1 資本金	12,616,892
2 剰余金	-12,352,448
(1) 資本剰余金	14,901,029
(2) 利益剰余金	-27,253,477
負債・資本合計	79,432,107
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	3,262,426	3,262,426
資本勘定繰入	179,679	179,679
計	3,442,105	3,442,105

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	69.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				千葉県	
市町村・組合名		千葉市			
病院名		青葉病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	34,012 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	307	79.8	79.7	76.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	56	36.5	59.4	65.8
感染症	6	23.6	51.9	62.4
計	369	72.3	76.1	74.3
平均在院日数(一般病床のみ)		12.4	12.0	11.5

設立団体の状況		
人口(人)	974,951	
決算規模(千円)	527,564,488	
標準財政規模(千円)	258,820,689	
財政力指数	0.91	
経常収支比率(%)	98.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.6
	将来負担比率(%)	125.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,509,586			
1 経常収益	13,490,450			
(1) 医業収益	9,975,730			
(うち修正医業収益)	9,768,500			
入院収益	6,831,845			
外来収益	2,807,383			
診療収入計	9,639,228			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	336,502			
(うち他会計負担金)	207,230			
(2) 医業外収益	3,514,720			
(うち国・都道府県補助金)	904,278			
(うち他会計補助・負担金)	2,006,052			
(うち長期前受金戻入)	2,589			
(うち資本費繰入収益)	433,216			
(3) 特別利益	19,136			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,724,226			
2 経常費用	12,600,614			
(1) 医業費用	11,746,684			
職員給与費	6,165,431	61.8	59.4	59.0
材料費	2,911,160	29.2	26.1	25.6
(うち薬品費)	1,956,429	19.6	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	953,889	9.6	11.8	11.2
減価償却費	633,721	6.4	8.7	8.6
経費	2,002,899	20.1	22.1	21.3
(うち委託料)	1,177,136	11.8	11.7	11.6
研究研修費	28,264			
資産減耗費	5,209			
(2) 医業外費用	853,930			
(うち支払利息)	194,040	1.9	1.0	1.1
(3) 特別損失	123,612			
経常損益	889,836			
純損益	785,360			
累積欠損金	1,290,573			
経常収支比率	107.1		103.3	104.8
医業収支比率	84.9		85.5	87.0
修正医業収支比率	83.2		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	16.4		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	22.2		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	16.4		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	89.5		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	33,849,896
1 固定資産	22,327,593
(1) 有形固定資産	21,721,706
(2) 無形固定資産	598,827
(3) 投資その他の資産	7,060
2 流動資産	11,522,303
(1) 現金及び預金	6,892,812
(2) 未収金及び未収収益	4,507,111
(3) 貸倒引当金()	20,961
(4) 貯蔵品	138,614
3 繰延資産	-
負債合計	29,431,575
1 固定負債	21,323,590
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,234,344
(2) その他の企業債	388,014
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,200,000
(6) 引当金	2,475,140
(7) 一ス債務	26,092
2 流動負債	6,173,657
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,888,237
(2) その他の企業債	59,676
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	434,847
(6) リ一ス債務	14,070
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,450,930
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,934,328
(1) 長期前受金	7,570,591
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,636,263
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,418,321
1 資本金	5,745,316
2 剰余金	-1,326,995
(1) 資本剰余金	1,750,264
(2) 利益剰余金	-3,077,259
負債・資本合計	33,849,896
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,886,521	2,213,282
資本勘定繰入	900,419	959,762
計	2,786,940	3,173,044

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	17.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				千葉県	
市町村・組合名		千葉市			
病院名		海浜病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	20,849 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	29	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	293	59.1	63.8	57.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	293	59.1	63.8	57.8
平均在院日数(一般病床のみ)		7.4	7.8	7.9

設立団体の状況		
人口(人)	974,951	
決算規模(千円)	527,564,488	
標準財政規模(千円)	258,820,689	
財政力指数	0.91	
経常収支比率(%)	98.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.6
	将来負担比率(%)	125.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,792,710			
1 経常収益	10,788,312			
(1) 医業収益	7,596,643			
(うち修正医業収益)	7,228,851			
入院収益	5,382,277			
外来収益	1,709,688			
診療収入計	7,091,965			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	504,678			
(うち他会計負担金)	367,792			
(2) 医業外収益	3,191,669			
(うち国・都道府県補助金)	1,229,196			
(うち他会計補助・負担金)	1,545,914			
(うち長期前受金戻入)	33,076			
(うち資本費繰入収益)	237,564			
(3) 特別利益	4,398			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,948,859			
2 経常費用	9,868,042			
(1) 医業費用	9,460,403			
職員給与費	5,467,379	72.0	59.4	63.7
材料費	1,311,605	17.3	26.1	21.0
(うち薬品費)	582,872	7.7	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	726,709	9.6	11.8	10.1
減価償却費	468,092	6.2	8.7	9.7
経費	2,183,490	28.7	22.1	28.9
(うち委託料)	1,359,079	17.9	11.7	13.6
研究研修費	28,233			
資産減耗費	1,604			
(2) 医業外費用	407,639			
(うち支払利息)	6,653	0.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	80,817			
損益	920,270			
純損益	843,851			
累積欠損金	1,786,686			
経常収支比率	109.3		103.3	101.8
医業収支比率	80.3		85.5	80.8
修正医業収支比率	76.4		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	17.7		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	25.2		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	17.7		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	89.9		91.9	89.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	33,849,896
1 固定資産	22,327,593
(1) 有形固定資産	21,721,706
(2) 無形固定資産	598,827
(3) 投資その他の資産	7,060
2 流動資産	11,522,303
(1) 現金及び預金	6,892,812
(2) 未収金及び未収収益	4,507,111
(3) 貸倒引当金()	20,961
(4) 貯蔵品	138,614
3 繰延資産	-
負債合計	29,431,575
1 固定負債	21,323,590
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,234,344
(2) その他の企業債	388,014
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,200,000
(6) 引当金	2,475,140
(7) 一ス債務	26,092
2 流動負債	6,173,657
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,888,237
(2) その他の企業債	59,676
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	434,847
(6) リ一ス債務	14,070
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,450,930
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,934,328
(1) 長期前受金	7,570,591
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,636,263
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,418,321
1 資本金	5,745,316
2 剰余金	-1,326,995
(1) 資本剰余金	1,750,264
(2) 利益剰余金	-3,077,259
負債・資本合計	33,849,896
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,659,195	1,913,706
資本勘定繰入	311,947	312,280
計	1,971,142	2,225,986

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	17.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名 千葉県	
市町村・組合名	銚子市				
病院名	銚子市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	18,960 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	12	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	108	40.3	38.0	33.4
療養	64	75.7	78.3	96.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	172	53.5	52.2	46.2
平均在院日数(一般病床のみ)		16.3	17.1	17.9

設立団体の状況		
人口(人)	58,431	
決算規模(千円)	25,361,353	
標準財政規模(千円)	14,844,953	
財政力指数	0.59	
経常収支比率(%)	91.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.2
	将来負担比率(%)	67.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	547,805			
1 経常収益	547,805			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	547,805			
(うち国・都道府県補助金)	62,414			
(うち他会計補助・負担金)	462,399			
(うち長期前受金戻入)	14,567			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	547,805			
2 経常費用	547,805			
(1) 医業費用	546,801			
職員給与費	6,066	-	59.4	67.0
材料費	-	-	26.1	18.2
(うち薬品費)	-	-	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.4
減価償却費	134,507	-	8.7	10.2
経費	401,917	-	22.1	28.8
(うち委託料)	12,940	-	11.7	13.2
研究研修費	-			
資産減耗費	4,311			
(2) 医業外費用	1,004			
(うち支払利息)	1,004	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	2,377,142			
経常収支比率	100.0		103.3	104.5
医業収支比率	-		85.5	80.1
修正医業収支比率	-		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	84.4		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	84.4		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	15.6		91.9	88.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,437,840
1 固定資産	1,320,639
(1) 有形固定資産	1,314,174
(2) 無形固定資産	5,085
(3) 投資その他の資産	1,380
2 流動資産	117,201
(1) 現金及び預金	115,925
(2) 未収金及び未収収益	1,276
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	544,372
1 固定負債	311,955
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	311,955
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	115,548
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	93,031
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	479
(6) リ一ス債務	1,251
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	16,787
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	116,869
(1) 長期前受金	787,798
(2) 長期前受金収益化累計額()	670,929
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	893,468
1 資本金	3,255,775
2 剰余金	-2,362,307
(1) 資本剰余金	14,835
(2) 利益剰余金	-2,377,142
負債・資本合計	1,437,840
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	868	462,399
資本勘定繰入	51,328	1,380
計	52,196	463,779

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		千葉県	
市町村・組合名	市川市		
病院名	リハビリテーション病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	496,676	
決算規模(千円)	174,968,715	
標準財政規模(千円)	94,453,318	
財政力指数	1.07	
経常収支比率(%)	91.2	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	22,014			
1 経常収益	22,014			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	22,014			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	22,014			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	22,014			
2 経常費用	22,014			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	67.0
材料費	-	-	26.1	18.2
(うち薬品費)	-	-	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.4
減価償却費	-	-	8.7	10.2
経費	-	-	22.1	28.8
(うち委託料)	-	-	11.7	13.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	22,014			
(うち支払利息)	22,014	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益	純損益	-		
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	104.5
医業収支比率	-		85.5	80.1
修正医業収支比率	-		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	100.0		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	-		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	14,676	22,014
資本勘定繰入	113,935	170,902
計	128,611	192,916

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				千葉県	
市町村・組合名	船橋市				
病院名	医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	35,581 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	31	指定病院の状況	救臨が 災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	449	76.3	74.5	75.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	449	76.3	74.5	75.3
平均在院日数(一般病床のみ)		10.1	9.9	10.2

設立団体の状況		
人口(人)	642,907	
決算規模(千円)	238,073,168	
標準財政規模(千円)	124,872,673	
財政力指数	0.93	
経常収支比率(%)	93.1	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	19,383,990			
1 経常収益	19,272,683			
(1) 医業収益	16,644,079			
(うち修正医業収益)	15,822,090			
入院収益	11,008,695			
外来収益	4,712,321			
診療収入計	15,721,016			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	923,063			
(うち他会計負担金)	821,989			
(2) 医業外収益	2,628,604			
(うち国・都道府県補助金)	1,547,383			
(うち他会計補助・負担金)	678,011			
(うち長期前受金戻入)	305,027			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	111,307			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,082,775			
2 経常費用	18,981,949			
(1) 医業費用	18,101,170			
職員給与費	9,463,355	56.9	59.4	57.2
材料費	4,730,852	28.4	26.1	28.0
(うち薬品費)	2,147,054	12.9	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,575,299	15.5	11.8	12.7
減価償却費	1,145,855	6.9	8.7	8.0
経費	2,594,674	15.6	22.1	19.0
(うち委託料)	1,472,282	8.8	11.7	10.0
研究研修費	57,472			
資産減耗費	108,962			
(2) 医業外費用	880,779			
(うち支払利息)	83,151	0.5	1.0	1.0
(3) 特別損失	100,826			
損益	290,734			
純損益	301,215			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.5		103.3	103.2
医業収支比率	92.0		85.5	88.6
修正医業収支比率	87.4		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	7.8		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	9.0		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	7.7		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	93.6		91.9	93.4

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	23,585,295
1 固定資産	11,241,191
(1) 有形固定資産	10,544,725
(2) 無形固定資産	482,599
(3) 投資その他の資産	213,867
2 流動資産	12,344,104
(1) 現金及び預金	9,052,265
(2) 未収金及び未収収益	3,238,380
(3) 貸倒引当金()	5,006
(4) 貯蔵品	58,465
3 繰延資産	-
負債合計	8,555,280
1 固定負債	4,503,508
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,443,663
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,059,845
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	2,951,918
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	948,208
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	543,324
(6) リース債務	9,159
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,381,647
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,099,854
(1) 長期前受金	6,631,622
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,531,768
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	15,030,015
1 資本金	7,107,417
2 剰余金	7,922,598
(1) 資本剰余金	705,672
(2) 利益剰余金	7,216,926
負債・資本合計	23,585,295
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,752,428	1,500,000
資本勘定繰入	1,023,859	500,000
計	2,776,287	2,000,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		千葉県	
市町村・組合名	松戸市		
病院名	松戸市立総合医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I未訓カ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	47,021 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	37	指定病院の状況	救臨が感災地
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	592	70.8	69.0	68.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	8	55.7	54.0	73.3
計	600	70.6	68.8	68.4
平均在院日数(一般病床のみ)		11.9	11.5	12.1

設立団体の状況		
人口(人)	498,232	
決算規模(千円)	183,865,661	
標準財政規模(千円)	93,811,358	
財政力指数	0.86	
経常収支比率(%)	92.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.7
	将来負担比率(%)	5.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	21,987,003			
1 経常収益	21,986,973			
(1) 医業収益	17,924,576			
(うち修正医業収益)	17,687,877			
入院収益	11,919,337			
外来収益	5,373,086			
診療収入計	17,292,423			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	632,153			
(うち他会計負担金)	236,699			
(2) 医業外収益	4,062,397			
(うち国・都道府県補助金)	2,643,089			
(うち他会計補助・負担金)	1,155,160			
(うち長期前受金戻入)	99,945			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	30			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	22,679,227			
2 経常費用	22,678,896			
(1) 医業費用	21,222,654			
職員給与費	10,540,144	58.8	59.4	52.8
材料費	5,165,658	28.8	26.1	31.5
(うち薬品費)	2,922,734	16.3	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,242,924	12.5	11.8	13.9
減価償却費	1,834,533	10.2	8.7	7.7
経費	3,615,576	20.2	22.1	18.0
(うち委託料)	1,512,105	8.4	11.7	10.7
研究研修費	52,800			
資産減耗費	13,943			
(2) 医業外費用	1,456,242			
(うち支払利息)	118,389	0.7	1.0	0.9
(3) 特別損失	331			
損益				
経常収支比率	96.9		103.3	102.8
医業収支比率	84.5		85.5	90.3
修正医業収支比率	83.3		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	6.3		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	7.8		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	6.3		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	90.8		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	41,231,928
1 固定資産	28,174,341
(1) 有形固定資産	26,764,935
(2) 無形固定資産	15,186
(3) 投資その他の資産	1,394,220
2 流動資産	13,057,587
(1) 現金及び預金	8,527,325
(2) 未収金及び未収収益	4,474,230
(3) 貸倒引当金()	21,395
(4) 貯蔵品	76,564
3 繰延資産	-
負債合計	28,507,216
1 固定負債	22,182,820
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	19,185,755
(2) その他の企業債	67,554
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,822,322
(7) 一ス債務	107,189
2 流動負債	3,756,181
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,061,827
(2) その他の企業債	9,581
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	769,795
(6) リ一ス債務	29,197
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,778,787
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,568,215
(1) 長期前受金	3,961,564
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,393,349
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	12,724,712
1 資本金	23,792,440
2 剰余金	-11,067,728
(1) 資本剰余金	354,934
(2) 利益剰余金	-11,422,662
負債・資本合計	41,231,928
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,260,069	1,391,859
資本勘定繰入	624,115	710,378
計	1,884,184	2,102,237

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	60.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				千葉県	
市町村・組合名	松戸市				
病院名	福祉医療センター東松戸病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	13,063 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	11	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	181	41.7	50.7	62.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	181	41.7	50.7	62.9
平均在院日数(一般病床のみ)		52.3	49.9	51.2

設立団体の状況		
人口(人)	498,232	
決算規模(千円)	183,865,661	
標準財政規模(千円)	93,811,358	
財政力指数	0.86	
経常収支比率(%)	92.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.7
	将来負担比率(%)	5.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,168,545			
1 経常収益	2,168,545			
(1) 医業収益	1,104,351			
(うち修正医業収益)	1,070,466			
入院収益	851,888			
外来収益	161,610			
診療収入計	1,013,498			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	90,853			
(うち他会計負担金)	33,885			
(2) 医業外収益	1,064,194			
(うち国・都道府県補助金)	106,593			
(うち他会計補助・負担金)	752,330			
(うち長期前受金戻入)	9,275			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,242,128			
2 経常費用	2,242,128			
(1) 医業費用	1,911,476			
職員給与費	1,334,463	120.8	59.4	67.0
材料費	64,362	5.8	26.1	18.2
(うち薬品費)	32,231	2.9	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	32,131	2.9	11.8	9.4
減価償却費	62,687	5.7	8.7	10.2
経費	447,980	40.6	22.1	28.8
(うち委託料)	250,236	22.7	11.7	13.2
研究研修費	1,660			
資産減耗費	324			
(2) 医業外費用	330,652			
(うち支払利息)	1,523	0.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益				
経常収支比率	96.7		103.3	104.5
医業収支比率	57.8		85.5	80.1
修正医業収支比率	56.0		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	36.3		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	71.2		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	36.3		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	61.7		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	41,231,928
1 固定資産	28,174,341
(1) 有形固定資産	26,764,935
(2) 無形固定資産	15,186
(3) 投資その他の資産	1,394,220
2 流動資産	13,057,587
(1) 現金及び預金	8,527,325
(2) 未収金及び未収収益	4,474,230
(3) 貸倒引当金()	21,395
(4) 貯蔵品	76,564
3 繰延資産	-
負債合計	28,507,216
1 固定負債	22,182,820
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	19,185,755
(2) その他の企業債	67,554
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,822,322
(7) 一 負債	107,189
2 流動負債	3,756,181
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,061,827
(2) その他の企業債	9,581
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	769,795
(6) リ 一 負債	29,197
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,778,787
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,568,215
(1) 長期前受金	3,961,564
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,393,349
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	12,724,712
1 資本金	23,792,440
2 剰余金	-11,067,728
(1) 資本剰余金	354,934
(2) 利益剰余金	-11,422,662
負債・資本合計	41,231,928
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	141,312	786,215
資本勘定繰入	30,638	31,622
計	171,950	817,837

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	60.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		千葉県	
市町村・組合名	旭市		
病院名	総合病院国保旭中央病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	63,745	
決算規模(千円)	31,909,985	
標準財政規模(千円)	18,093,017	
財政力指数	0.49	
経常収支比率(%)	92.2	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	299,111			
1 経常収益	299,111			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	299,111			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	299,111			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	299,111			
2 経常費用	299,111			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	52.8
材料費	-	-	26.1	31.5
(うち薬品費)	-	-	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	13.9
減価償却費	-	-	8.7	7.7
経費	-	-	22.1	18.0
(うち委託料)	-	-	11.7	10.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	299,111			
(うち支払利息)	299,111	-	1.0	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益	純損益	-		
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	102.8
医業収支比率	-		85.5	90.3
修正医業収支比率	-		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	100.0		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	-		91.9	95.1

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	149,556	299,111
資本勘定繰入	613,925	1,227,850
計	763,481	1,526,961

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名 千葉県	
市町村・組合名	柏市				
病院名	柏病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	12,250 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救 臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	200	50.9	51.0	56.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	200	50.9	51.0	56.9
平均在院日数(一般病床のみ)		14.8	13.8	16.0

設立団体の状況	
人口(人)	426,468
決算規模(千円)	155,887,030
標準財政規模(千円)	84,554,432
財政力指数	0.93
経常収支比率(%)	89.8
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 2.0 -

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	322,464			
1 経常収益	322,464			
(1) 医業収益	93,600			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	93,600			
(うち他会計負担金)	93,600			
(2) 医業外収益	228,864			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	177,746			
(うち長期前受金戻入)	10,796			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	322,464			
2 経常費用	322,464			
(1) 医業費用	310,382			
職員給与費	26,184	28.0	59.4	63.7
材料費	-	-	26.1	21.0
(うち薬品費)	-	-	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	10.1
減価償却費	59,606	63.7	8.7	9.7
経費	222,429	237.6	22.1	28.9
(うち委託料)	17,570	18.8	11.7	13.6
研究研修費	-			
資産減耗費	2,163			
(2) 医業外費用	12,082			
(うち支払利息)	11,163	11.9	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	101.8
医業収支比率	30.2		85.5	80.8
修正医業収支比率	-		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	84.1		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	289.9		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	84.1		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	15.9		91.9	89.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,260,124
1 固定資産	2,809,008
(1) 有形固定資産	2,809,008
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	2,451,116
(1) 現金及び預金	2,132,493
(2) 未収金及び未収収益	318,623
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	638,230
1 固定負債	281,338
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	262,318
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	19,020
(7) 一 負債	-
2 流動負債	251,190
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	30,314
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,584
(6) リ 一 負債	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	219,092
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	105,702
(1) 長期前受金	376,051
(2) 長期前受金収益化累計額()	270,349
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,621,894
1 資本金	4,458,955
2 剰余金	162,939
(1) 資本剰余金	127,482
(2) 利益剰余金	35,457
負債・資本合計	5,260,124
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	215,759	271,346
資本勘定繰入	121,318	121,318
計	337,077	392,664

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたもの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				千葉県	
市町村・組合名	鴨川市				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,112 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	52	81.6	61.4	60.3
療養	18	89.9	82.4	92.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	70	83.8	66.8	68.5
平均在院日数(一般病床のみ)		26.7	30.3	32.9

設立団体の状況		
人口(人)	32,116	
決算規模(千円)	17,744,458	
標準財政規模(千円)	9,835,169	
財政力指数	0.50	
経常収支比率(%)	98.7	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.8
	将来負担比率(%)	83.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,452,997			
1 経常収益	1,452,997			
(1) 医業収益	1,257,397			
(うち修正医業収益)	1,221,103			
入院収益	670,274			
外来収益	361,235			
診療収入計	1,031,509			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	225,888			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	195,600			
(うち国・都道府県補助金)	49,918			
(うち他会計補助・負担金)	113,706			
(うち長期前受金戻入)	20,190			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,349,199			
2 経常費用	1,349,199			
(1) 医業費用	1,285,774			
職員給与費	806,934	64.2	59.4	76.5
材料費	82,456	6.6	26.1	14.9
(うち薬品費)	23,796	1.9	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	55,225	4.4	11.8	6.4
減価償却費	190,829	15.2	8.7	11.5
経費	201,572	16.0	22.1	32.6
(うち委託料)	102,213	8.1	11.7	14.8
研究研修費	3,394			
資産減耗費	589			
(2) 医業外費用	63,425			
(うち支払利息)	7,624	0.6	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	103,798			
純損益	103,798			
累積欠損金	-			
経常収支比率	107.7		103.3	101.5
医業収支比率	97.8		85.5	73.2
修正医業収支比率	95.0		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	10.3		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	11.9		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	10.3		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	96.6		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,550,149
1 固定資産	2,847,977
(1) 有形固定資産	2,643,472
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	204,505
2 流動資産	702,172
(1) 現金及び預金	315,094
(2) 未収金及び未収収益	383,012
(3) 貸倒引当金()	336
(4) 貯蔵品	4,402
3 繰延資産	-
負債合計	2,405,741
1 固定負債	1,925,494
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,812,963
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	38,598
(7) 一ス債務	73,933
2 流動負債	191,877
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	70,890
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	38,245
(6) リ一ス債務	29,962
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	52,780
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	288,370
(1) 長期前受金	413,002
(2) 長期前受金収益化累計額()	124,632
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,144,408
1 資本金	1,061,031
2 剰余金	83,377
(1) 資本剰余金	25,099
(2) 利益剰余金	58,278
負債・資本合計	3,550,149
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	160,005	150,000
資本勘定繰入	29,742	26,286
計	189,747	176,286

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				千葉県	
市町村・組合名	南房総市				
病院名	南房総市立富山国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,401 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救 感 輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	47	22.1	22.5	33.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	3.5	4.2	-
計	51	20.6	21.0	30.6
平均在院日数(一般病床のみ)		9.3	10.7	14.9

設立団体の状況	
人口(人)	35,831
決算規模(千円)	24,070,248
標準財政規模(千円)	14,612,861
財政力指数	0.31
経常収支比率(%)	94.6
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 8.9 -

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,248,250			
1 経常収益	1,248,250			
(1) 医業収益	365,988			
(うち修正医業収益)	365,988			
入院収益	250,120			
外来収益	95,714			
診療収入計	345,834			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	20,154			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	882,262			
(うち国・都道府県補助金)	764,054			
(うち他会計補助・負担金)	92,102			
(うち長期前受金戻入)	16,183			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	708,027			
2 経常費用	708,027			
(1) 医業費用	683,572			
職員給与費	385,018	105.2	59.4	76.5
材料費	94,013	25.7	26.1	14.9
(うち薬品費)	66,303	18.1	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	23,706	6.5	11.8	6.4
減価償却費	48,026	13.1	8.7	11.5
経費	155,780	42.6	22.1	32.6
(うち委託料)	37,139	10.1	11.7	14.8
研究研修費	735			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	24,455			
(うち支払利息)	139	-	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	540,223			
純損益	540,223			
累積欠損金	-			
経常収支比率	176.3		103.3	101.5
医業収支比率	53.5		85.5	73.2
修正医業収支比率	53.5		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	7.4		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	25.2		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	7.4		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	163.3		91.9	78.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,633,535
1 固定資産	585,382
(1) 有形固定資産	585,382
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	2,048,153
(1) 現金及び預金	1,693,508
(2) 未収金及び未収収益	352,738
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	1,907
3 繰延資産	-
負債合計	375,103
1 固定負債	26,400
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	26,400
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一 負債	-
2 流動負債	81,637
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,120
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	29,292
(6) リ 一 負債	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	38,866
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	267,066
(1) 長期前受金	386,498
(2) 長期前受金収益化累計額()	119,432
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,258,432
1 資本金	899,550
2 剰余金	1,358,882
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	1,358,882
負債・資本合計	2,633,535
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	91,492	92,102
資本勘定繰入	8,508	8,508
計	100,000	100,610

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				千葉県	
市町村・組合名	匝瑳市				
病院名	国保匝瑳市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,795 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	17	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	99	52.5	55.0	57.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	52.5	55.0	57.1
平均在院日数(一般病床のみ)		17.4	16.1	17.2

設立団体の状況		
人口(人)	35,040	
決算規模(千円)	15,148,395	
標準財政規模(千円)	9,945,356	
財政力指数	0.47	
経常収支比率(%)	93.7	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.8
	将来負担比率(%)	9.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,821,214			
1 経常収益	2,813,085			
(1) 医業収益	1,488,018			
(うち修正医業収益)	1,441,100			
入院収益	645,336			
外来収益	688,761			
診療収入計	1,334,097			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	153,921			
(うち他会計負担金)	46,918			
(2) 医業外収益	1,325,067			
(うち国・都道府県補助金)	279,520			
(うち他会計補助・負担金)	395,281			
(うち長期前受金戻入)	78,794			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	8,129			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,859,638			
2 経常費用	2,858,458			
(1) 医業費用	2,149,920			
職員給与費	1,347,400	90.5	59.4	76.5
材料費	155,885	10.5	26.1	14.9
(うち薬品費)	103,369	6.9	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	52,279	3.5	11.8	6.4
減価償却費	154,885	10.4	8.7	11.5
経費	487,492	32.8	22.1	32.6
(うち委託料)	279,480	18.8	11.7	14.8
研究研修費	2,123			
資産減耗費	2,135			
(2) 医業外費用	708,538			
(うち支払利息)	9,735	0.7	1.0	1.3
(3) 特別損失	1,180			
損益	-45,373			
純損益	-38,424			
累積欠損金	2,397,984			
経常収支比率	98.4		103.3	101.5
医業収支比率	69.2		85.5	73.2
修正医業収支比率	67.0		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	15.7		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	29.7		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	15.7		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	82.9		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,471,948
1 固定資産	1,637,757
(1) 有形固定資産	1,553,407
(2) 無形固定資産	56,383
(3) 投資その他の資産	27,967
2 流動資産	834,191
(1) 現金及び預金	395,488
(2) 未収金及び未収収益	429,199
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	9,504
3 繰延資産	-
負債合計	1,479,019
1 固定負債	738,685
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	647,888
(2) その他の企業債	50,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	40,797
2 流動負債	354,658
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	140,598
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	101,797
(6) リース債務	13,919
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	86,691
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	385,676
(1) 長期前受金	1,388,554
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,002,878
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	992,929
1 資本金	3,266,906
2 剰余金	-2,273,977
(1) 資本剰余金	112,507
(2) 利益剰余金	-2,386,484
負債・資本合計	2,471,948
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	438,280	442,199
資本勘定繰入	75,379	101,349
計	513,659	543,548

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	161.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		千葉県	
市町村・組合名	香取市		
病院名	香取おみがわ医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	72.1	77.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	72.1	77.1
平均在院日数(一般病床のみ)		-	9.4	10.1

設立団体の状況	
人口(人)	72,356
決算規模(千円)	37,036,305
標準財政規模(千円)	20,483,542
財政力指数	0.51
経常収支比率(%)	88.8
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	8.8
将来負担比率(%)	18.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,207			
1 経常収益	14,207			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	14,207			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	14,207			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,207			
2 経常費用	14,207			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	67.0
材料費	-	-	26.1	18.2
(うち薬品費)	-	-	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.4
減価償却費	-	-	8.7	10.2
経費	-	-	22.1	28.8
(うち委託料)	-	-	11.7	13.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	14,207			
(うち支払利息)	14,207	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益				
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	104.5
医業収支比率	-		85.5	80.1
修正医業収支比率	-		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	100.0		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	-		91.9	88.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	7,104	14,207
資本勘定繰入	187,416	374,833
計	194,520	389,040

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		千葉県	
市町村・組合名	大網白里市		
病院名	国保大網病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	5,856 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	9	指定病院の状況	救 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	99	62.7	70.9	77.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	62.7	70.9	77.2
平均在院日数(一般病床のみ)		14.5	14.9	16.3

設立団体の状況		
人口(人)	48,129	
決算規模(千円)	16,816,949	
標準財政規模(千円)	10,481,677	
財政力指数	0.60	
経常収支比率(%)	99.5	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.1
	将来負担比率(%)	45.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,653,514			
1 経常収益	2,653,514			
(1) 医業収益	2,269,154			
(うち修正医業収益)	2,143,154			
入院収益	1,089,650			
外来収益	888,683			
診療収入計	1,978,333			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	290,821			
(うち他会計負担金)	126,000			
(2) 医業外収益	384,360			
(うち国・都道府県補助金)	159,671			
(うち他会計補助・負担金)	194,612			
(うち長期前受金戻入)	9,945			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,648,616			
2 経常費用	2,648,616			
(1) 医業費用	2,532,210			
職員給与費	1,316,809	58.0	59.4	76.5
材料費	694,862	30.6	26.1	14.9
(うち薬品費)	513,327	22.6	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	180,760	8.0	11.8	6.4
減価償却費	92,349	4.1	8.7	11.5
経費	427,123	18.8	22.1	32.6
(うち委託料)	234,196	10.3	11.7	14.8
研究研修費	1,067			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	116,406			
(うち支払利息)	14,565	0.6	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	4,898			
純損益	4,898			
累積欠損金	1,865,663			
経常収支比率	100.2		103.3	101.5
医業収支比率	89.6		85.5	73.2
修正医業収支比率	84.6		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	12.1		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	14.1		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	12.1		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	88.1		91.9	78.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,852,300
1 固定資産	1,250,715
(1) 有形固定資産	1,250,574
(2) 無形固定資産	141
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	601,585
(1) 現金及び預金	214,243
(2) 未収金及び未収収益	375,223
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	12,119
3 繰延資産	-
負債合計	1,161,091
1 固定負債	329,333
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	318,381
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	768
(7) 一ス債務	10,184
2 流動負債	342,388
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	161,219
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	64,392
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	116,277
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	489,370
(1) 長期前受金	1,104,209
(2) 長期前受金収益化累計額()	614,839
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	691,209
1 資本金	2,542,929
2 剰余金	-1,851,720
(1) 資本剰余金	13,943
(2) 利益剰余金	-1,865,663
負債・資本合計	1,852,300
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	400,572	320,612
資本勘定繰入	95,921	80,000
計	496,493	400,612

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	82.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				千葉県	
市町村・組合名	多古町				
病院名	国保多古中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	10,233 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	99	51.2	51.5	47.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	51.2	51.5	47.0
平均在院日数(一般病床のみ)		23.1	22.0	20.0

設立団体の状況		
人口(人)	13,735	
決算規模(千円)	7,730,337	
標準財政規模(千円)	4,662,879	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(%)	85.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,417,889			
1 経常収益	2,417,889			
(1) 医業収益	1,650,726			
(うち修正医業収益)	1,525,614			
入院収益	812,177			
外来収益	618,044			
診療収入計	1,430,221			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	220,505			
(うち他会計負担金)	125,112			
(2) 医業外収益	767,163			
(うち国・都道府県補助金)	241,953			
(うち他会計補助・負担金)	344,352			
(うち長期前受金戻入)	143,061			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,398,991			
2 経常費用	2,397,627			
(1) 医業費用	2,297,839			
職員給与費	1,342,625	81.3	59.4	76.5
材料費	182,722	11.1	26.1	14.9
(うち薬品費)	98,308	6.0	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	84,391	5.1	11.8	6.4
減価償却費	216,556	13.1	8.7	11.5
経費	544,937	33.0	22.1	32.6
(うち委託料)	274,716	16.6	11.7	14.8
研究研修費	2,931			
資産減耗費	8,068			
(2) 医業外費用	99,788			
(うち支払利息)	12,504	0.8	1.0	1.3
(3) 特別損失	1,364			
経常損益	20,262			
純損益	18,898			
累積欠損金	2,401,023			
経常収支比率	100.8		103.3	101.5
医業収支比率	71.8		85.5	73.2
修正医業収支比率	66.4		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	19.4		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	28.4		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	19.4		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	81.3		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,706,404
1 固定資産	3,141,540
(1) 有形固定資産	3,062,582
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	78,958
2 流動資産	564,864
(1) 現金及び預金	197,887
(2) 未収金及び未収収益	357,620
(3) 貸倒引当金()	500
(4) 貯蔵品	9,857
3 繰延資産	-
負債合計	2,044,821
1 固定負債	839,704
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	568,093
(2) その他の企業債	271,611
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	314,398
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	127,642
(2) その他の企業債	20,889
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	83,101
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	73,336
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	890,719
(1) 長期前受金	2,348,454
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,457,735
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,661,583
1 資本金	4,045,628
2 剰余金	-2,384,045
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,384,045
負債・資本合計	3,706,404
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	347,640	469,464
資本勘定繰入	147,944	156,244
計	495,584	625,708

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	145.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				千葉県	
市町村・組合名	東庄町				
病院名	国保東庄病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,818 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	32	46.8	57.2	48.7
療養	48	68.2	64.9	64.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	80	59.6	61.8	58.3
平均在院日数(一般病床のみ)		22.5	20.1	18.7

設立団体の状況		
人口(人)	13,228	
決算規模(千円)	6,379,209	
標準財政規模(千円)	4,022,671	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	86.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,002,448			
1 経常収益	1,002,448			
(1) 医業収益	791,801			
(うち修正医業収益)	746,704			
入院収益	285,999			
外来収益	364,490			
診療収入計	650,489			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	141,312			
(うち他会計負担金)	45,097			
(2) 医業外収益	210,647			
(うち国・都道府県補助金)	3,825			
(うち他会計補助・負担金)	168,903			
(うち長期前受金戻入)	33,179			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,044,228			
2 経常費用	1,044,228			
(1) 医業費用	993,208			
職員給与費	514,674	65.0	59.4	76.5
材料費	212,686	26.9	26.1	14.9
(うち薬品費)	170,710	21.6	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	40,420	5.1	11.8	6.4
減価償却費	44,272	5.6	8.7	11.5
経費	219,128	27.7	22.1	32.6
(うち委託料)	154,534	19.5	11.7	14.8
研究研修費	1,967			
資産減耗費	481			
(2) 医業外費用	51,020			
(うち支払利息)	9,972	1.3	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-41,780			
純損失	-41,780			
累積欠損金	991,568			
経常収支比率	96.0		103.3	101.5
医業収支比率	79.7		85.5	73.2
修正医業収支比率	75.2		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	21.3		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	27.0		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	21.3		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	75.5		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	894,382
1 固定資産	725,697
(1) 有形固定資産	710,010
(2) 無形固定資産	187
(3) 投資その他の資産	15,500
2 流動資産	168,685
(1) 現金及び預金	50,752
(2) 未収金及び未収収益	106,974
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	10,958
3 繰延資産	-
負債合計	551,275
1 固定負債	298,400
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	298,400
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	166,529
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	85,916
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	46,777
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	86,346
(1) 長期前受金	597,533
(2) 長期前受金収益化累計額()	511,187
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	343,107
1 資本金	1,334,675
2 剰余金	-991,568
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-991,568
負債・資本合計	894,382
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	214,401	214,000
資本勘定繰入	77,695	50,000
計	292,096	264,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	125.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				千葉県	
市町村・組合名	横芝光町				
病院名	東陽病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,433 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	55	49.1	56.3	50.7
療養	40	72.6	74.4	68.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	95	59.0	63.9	58.0
平均在院日数(一般病床のみ)		21.4	18.8	15.7

設立団体の状況	
人口(人)	22,075
決算規模(千円)	12,477,213
標準財政規模(千円)	6,834,302
財政力指数	0.45
経常収支比率(%)	89.9
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,547,158			
1 経常収益	1,540,158			
(1) 医業収益	980,955			
(うち修正医業収益)	943,515			
入院収益	557,464			
外来収益	309,863			
診療収入計	867,327			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	113,628			
(うち他会計負担金)	37,440			
(2) 医業外収益	559,203			
(うち国・都道府県補助金)	57,043			
(うち他会計補助・負担金)	403,465			
(うち長期前受金戻入)	87,810			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	7,000			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,595,414			
2 経常費用	1,595,414			
(1) 医業費用	1,532,760			
職員給与費	825,928	84.2	59.4	76.5
材料費	95,897	9.8	26.1	14.9
(うち薬品費)	45,583	4.6	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	48,981	5.0	11.8	6.4
減価償却費	134,420	13.7	8.7	11.5
経費	456,745	46.6	22.1	32.6
(うち委託料)	179,547	18.3	11.7	14.8
研究研修費	2,352			
資産減耗費	17,418			
(2) 医業外費用	62,654			
(うち支払利息)	360	-	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	-55,256			
純損益	-48,256			
累積欠損金	1,320,512			
経常収支比率	96.5		103.3	101.5
医業収支比率	64.0		85.5	73.2
修正医業収支比率	61.6		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	28.6		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	44.9		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	28.5		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	68.9		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,011,428
1 固定資産	2,640,784
(1) 有形固定資産	2,370,981
(2) 無形固定資産	209,068
(3) 投資その他の資産	60,735
2 流動資産	370,644
(1) 現金及び預金	236,721
(2) 未収金及び未収収益	127,524
(3) 貸倒引当金()	60
(4) 貯蔵品	6,459
3 繰延資産	-
負債合計	1,436,839
1 固定負債	121,142
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	121,142
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	216,637
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	37,027
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	53,753
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	120,272
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,099,060
(1) 長期前受金	2,185,612
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,086,552
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,574,589
1 資本金	2,895,051
2 剰余金	-1,320,462
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,320,462
負債・資本合計	3,011,428
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	440,905	440,905
資本勘定繰入	24,299	24,299
計	465,204	465,204

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	134.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名 千葉県	
市町村・組合名	鋸南町				
病院名	国保鋸南病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,389 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	32	76.0	82.5	64.3
療養	34	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	66	36.9	40.0	31.2
平均在院日数(一般病床のみ)		24.7	26.2	26.9

設立団体の状況	
人口(人)	6,993
決算規模(千円)	5,145,460
標準財政規模(千円)	3,058,867
財政力指数	0.27
経常収支比率(%)	86.6
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 8.6 10.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	35,300			
1 経常収益	35,300			
(1) 医業収益	1,950			
(うち修正医業収益)	1,950			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	1,950			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	33,350			
(うち国・都道府県補助金)	760			
(うち他会計補助・負担金)	28,912			
(うち長期前受金戻入)	2,655			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	59,925			
2 経常費用	59,925			
(1) 医業費用	58,250			
職員給与費	-	-	59.4	76.5
材料費	-	-	26.1	14.9
(うち薬品費)	-	-	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	6.4
減価償却費	20,259	1038.9	8.7	11.5
経費	37,991	1948.3	22.1	32.6
(うち委託料)	536	27.5	11.7	14.8
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	1,675			
(うち支払利息)	860	44.1	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	経常損益	-24,625		
	純損益	-24,625		
累積欠損金	1,455,269			
経常収支比率	58.9		103.3	101.5
医業収支比率	3.3		85.5	73.2
修正医業収支比率	3.3		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	81.9		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	1482.7		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	81.9		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	10.7		91.9	78.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	336,675
1 固定資産	320,644
(1) 有形固定資産	320,644
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	16,031
(1) 現金及び預金	16,031
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	82,205
1 固定負債	41,981
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	41,981
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	8,739
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,739
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	31,485
(1) 長期前受金	154,071
(2) 長期前受金収益化累計額()	122,586
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	254,470
1 資本金	1,709,739
2 剰余金	-1,455,269
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,455,269
負債・資本合計	336,675
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	20,572	28,912
資本勘定繰入	4,932	7,629
計	25,504	36,541

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	74629.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				千葉県	
市町村・組合名	国保国吉病院組合				
病院名	いすみ医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	11,669 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救 感 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	92	42.6	40.9	44.9
療養	48	68.8	73.4	73.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	44.6	39.0	44.0
計	144	51.4	51.7	54.2
平均在院日数(一般病床のみ)		18.7	15.1	19.7

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,592,701			
1 経常収益	3,584,296			
(1) 医業収益	2,018,405			
(うち修正医業収益)	1,844,135			
入院収益	942,320			
外来収益	784,357			
診療収入計	1,726,677			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	291,728			
(うち他会計負担金)	174,270			
(2) 医業外収益	1,565,891			
(うち国・都道府県補助金)	674,337			
(うち他会計補助・負担金)	244,977			
(うち長期前受金戻入)	168,864			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	8,405			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,256,782			
2 経常費用	3,256,782			
(1) 医業費用	2,613,814			
職員給与費	1,580,346	78.3	59.4	67.0
材料費	314,826	15.6	26.1	18.2
(うち薬品費)	151,275	7.5	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	158,408	7.8	11.8	9.4
減価償却費	210,523	10.4	8.7	10.2
経費	494,760	24.5	22.1	28.8
(うち委託料)	169,075	8.4	11.7	13.2
研究研修費	3,117			
資産減耗費	10,242			
(2) 医業外費用	642,968			
(うち支払利息)	48,284	2.4	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	327,514			
純損益	335,919			
累積欠損金	965,199			
経常収支比率	110.1		103.3	104.5
医業収支比率	77.2		85.5	80.1
修正医業収支比率	70.6		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	11.7		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	20.8		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	11.7		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	97.2		91.9	88.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,177,241
1 固定資産	2,841,468
(1) 有形固定資産	2,733,838
(2) 無形固定資産	17,080
(3) 投資その他の資産	90,550
2 流動資産	2,335,773
(1) 現金及び預金	1,716,690
(2) 未収金及び未収収益	608,733
(3) 貸倒引当金()	1,165
(4) 貯蔵品	11,515
3 繰延資産	-
負債合計	3,294,186
1 固定負債	2,372,335
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,372,335
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	463,037
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	182,877
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	123,233
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	156,326
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	458,814
(1) 長期前受金	2,014,420
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,555,606
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,883,055
1 資本金	2,841,714
2 剰余金	-958,659
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-958,659
負債・資本合計	5,177,241
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	396,456	419,247
資本勘定繰入	135,665	157,911
計	532,121	577,158

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	47.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				千葉県	
市町村・組合名	君津中央病院企業団				
病院名	君津中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	52,379 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	33	指定病院の状況	救臨が感災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	636	72.4	75.6	74.0
療養	-	-	-	-
結核	18	27.9	8.3	17.0
精神	-	-	-	-
感染症	6	50.5	29.5	36.2
計	660	71.0	73.3	72.1
平均在院日数(一般病床のみ)		11.3	11.9	12.0

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	23,242,592			
1 経常収益	22,675,243			
(1) 医業収益	20,019,706			
(うち修正医業収益)	19,633,946			
入院収益	13,444,001			
外来収益	5,652,757			
診療収入計	19,096,758			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	922,948			
(うち他会計負担金)	385,760			
(2) 医業外収益	2,655,537			
(うち国・都道府県補助金)	1,219,928			
(うち他会計補助・負担金)	913,372			
(うち長期前受金戻入)	110,021			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	567,349			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	22,717,187			
2 経常費用	22,377,051			
(1) 医業費用	20,857,912			
職員給与費	11,190,936	55.9	59.4	52.8
材料費	5,470,512	27.3	26.1	31.5
(うち薬品費)	2,628,211	13.1	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,750,575	13.7	11.8	13.9
減価償却費	1,153,637	5.8	8.7	7.7
経費	2,954,140	14.8	22.1	18.0
(うち委託料)	1,412,474	7.1	11.7	10.7
研究研修費	66,729			
資産減耗費	21,958			
(2) 医業外費用	1,519,139			
(うち支払利息)	171,871	0.9	1.0	0.9
(3) 特別損失	340,136			
経常損益	298,192			
純損益	525,405			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.3		103.3	102.8
医業収支比率	96.0		85.5	90.3
修正医業収支比率	94.1		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	5.7		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	6.5		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	5.6		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	95.5		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	26,124,143
1 固定資産	17,718,313
(1) 有形固定資産	17,381,907
(2) 無形固定資産	15,125
(3) 投資その他の資産	321,281
2 流動資産	8,405,830
(1) 現金及び預金	3,650,265
(2) 未収金及び未収収益	4,648,437
(3) 貸倒引当金()	15,043
(4) 貯蔵品	101,899
3 繰延資産	-
負債合計	19,695,050
1 固定負債	14,161,166
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,808,700
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,085,752
(7) 一ス債務	266,714
2 流動負債	3,830,440
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,649,464
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	690,516
(6) リ一ス債務	17,375
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,356,258
(9) 前受金及び前受収益	9,500
3 繰延収益	1,703,444
(1) 長期前受金	4,737,954
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,034,510
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	6,429,093
1 資本金	3,158,677
2 剰余金	3,270,416
(1) 資本剰余金	76,442
(2) 利益剰余金	3,193,974
負債・資本合計	26,124,143
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,643,639	1,299,132
資本勘定繰入	1,054,784	386,000
計	2,698,423	1,685,132

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名 千葉県	
市町村・組合名	君津中央病院企業団		
病院名	君津中央病院大佐和分院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	2,116 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	10	指定病院の状況	輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	36	78.1	83.5	72.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	36	78.1	83.5	72.5
平均在院日数(一般病床のみ)		19.9	18.5	17.9

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	706,659			
1 経常収益	706,659			
(1) 医業収益	608,016			
(うち修正医業収益)	608,016			
入院収益	297,459			
外来収益	282,672			
診療収入計	580,131			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	27,885			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	98,643			
(うち国・都道府県補助金)	22,019			
(うち他会計補助・負担金)	57,000			
(うち長期前受金戻入)	4,521			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	749,223			
2 経常費用	748,985			
(1) 医業費用	730,599			
職員給与費	540,860	89.0	59.4	87.7
材料費	69,705	11.5	26.1	13.6
(うち薬品費)	22,754	3.7	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	39,307	6.5	11.8	5.9
減価償却費	30,349	5.0	8.7	12.7
経費	88,014	14.5	22.1	45.1
(うち委託料)	37,536	6.2	11.7	21.3
研究研修費	1,046			
資産減耗費	625			
(2) 医業外費用	18,386			
(うち支払利息)	-	-	1.0	1.0
(3) 特別損失	238			
損益	経常損益	-42,326		
	純損益	-42,564		
累積欠損金	-			
経常収支比率	94.3		103.3	101.7
医業収支比率	83.2		85.5	62.5
修正医業収支比率	83.2		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	8.1		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	9.4		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	8.1		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	86.7		91.9	67.5

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	26,124,143
1 固定資産	17,718,313
(1) 有形固定資産	17,381,907
(2) 無形固定資産	15,125
(3) 投資その他の資産	321,281
2 流動資産	8,405,830
(1) 現金及び預金	3,650,265
(2) 未収金及び未収収益	4,648,437
(3) 貸倒引当金()	15,043
(4) 貯蔵品	101,899
3 繰延資産	-
負債合計	19,695,050
1 固定負債	14,161,166
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,808,700
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,085,752
(7) 一ス債務	266,714
2 流動負債	3,830,440
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,649,464
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	690,516
(6) リ一ス債務	17,375
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,356,258
(9) 前受金及び前受収益	9,500
3 繰延収益	1,703,444
(1) 長期前受金	4,737,954
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,034,510
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	6,429,093
1 資本金	3,158,677
2 剰余金	3,270,416
(1) 資本金剰余金	76,442
(2) 利益剰余金	3,193,974
負債・資本合計	26,124,143
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	145,783	57,000
資本勘定繰入	24,416	-
計	170,199	57,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		千葉県	
市町村・組合名	長生郡市広域市町村圏組合(事業会計分)		
病院名	公立長生病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	12,701 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	15	指定病院の状況	救 臨 輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	180	35.7	39.8	46.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	180	35.7	39.8	46.6
平均在院日数(一般病床のみ)		12.8	14.0	16.7

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,494,428			
1 経常収益	3,113,100			
(1) 医業収益	2,415,159			
(うち修正医業収益)	2,265,042			
入院収益	1,164,410			
外来収益	947,193			
診療収入計	2,111,603			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	303,556			
(うち他会計負担金)	150,117			
(2) 医業外収益	697,941			
(うち国・都道府県補助金)	26,274			
(うち他会計補助・負担金)	568,281			
(うち長期前受金戻入)	76,563			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	381,328			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,183,694			
2 経常費用	3,183,694			
(1) 医業費用	3,071,722			
職員給与費	1,847,251	76.5	59.4	67.0
材料費	477,229	19.8	26.1	18.2
(うち薬品費)	250,161	10.4	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	227,068	9.4	11.8	9.4
減価償却費	125,193	5.2	8.7	10.2
経費	606,777	25.1	22.1	28.8
(うち委託料)	266,245	11.0	11.7	13.2
研究研修費	4,498			
資産減耗費	10,774			
(2) 医業外費用	111,972			
(うち支払利息)	5,314	0.2	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-70,594			
純損益	310,734			
累積欠損金	3,765,517			
経常収支比率	97.8		103.3	104.5
医業収支比率	78.6		85.5	80.1
修正医業収支比率	73.7		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	23.1		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	29.7		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	20.6		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	75.2		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,684,343
1 固定資産	2,812,281
(1) 有形固定資産	2,702,566
(2) 無形固定資産	115
(3) 投資その他の資産	109,600
2 流動資産	1,872,062
(1) 現金及び預金	1,106,679
(2) 未収金及び未収収益	746,320
(3) 貸倒引当金()	23,733
(4) 貯蔵品	42,796
3 繰延資産	-
負債合計	3,565,754
1 固定負債	761,683
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	751,109
(2) その他の企業債	10,574
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一 負債	-
2 流動負債	818,821
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	117,156
(2) その他の企業債	10,538
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	106,123
(6) リ 一 負債	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	571,042
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,985,250
(1) 長期前受金	4,744,424
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,759,174
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,118,589
1 資本金	4,877,606
2 剰余金	-3,759,017
(1) 資本剰余金	3,500
(2) 利益剰余金	-3,762,517
負債・資本合計	4,684,343
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	463,938	718,398
資本勘定繰入	21,942	21,942
計	485,880	740,340

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	155.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。